

[抄録様式]

<p>公益財団法人8020推進財団</p> <p>平成27年度 歯科保健活動自制交付事業報告書抄録</p>	
<p>1. 事業名</p>	<p>成人期(二十歳)の歯、口腔の健康づくり推進事業</p>
<p>2. 申請者名</p>	<p>一般社団法人 西宮市歯科医師会</p>
<p>3. 実施組織</p>	<p>一般社団法人 西宮市歯科医師会</p>
<p>4. 事業の概要</p>	<p>学齢期終了後二十歳代前半までの歯科健診空白期間において歯科保健行動の向上とその変容を体得させることが、その後の良好な口腔保健の維持に繋がることを証明し、空白期間の歯科保健活動を地域行政の歯科保健体制に組み込み、切れ目のない保健事業を達成することを目的とする。</p>
<p>5. 事業の内容</p>	<p>歯科医師会と市行政が地域における成人期の歯科保健について、健康日本21の目標をほぼ達成し、地域版である第二次健康づくり運動の目標値を策定する段階において成人期の歯科保健状態の悪化が問題となった。</p> <p>現在、西宮市には7大学、2短期大学が存在する。本年度はその内の一つの大学(学生数約8800人)で歯科保健を啓発普及するため市内会員診療所にて歯科健診を実施する。(協力診療所約100医院)次年度以降は対象大学を現在に上積みして増やし、大学入学時と卒業時のDMF、CPIなどを比較し、毎年継続型と単純参加型で保健状態を比較検討し、市行政と各大学が構成する市内大学交流協議会(地域連携推進委員会)にて結果を示し、地域在住の若年成人に対しても普及啓発するように事業拡大を推進し、ソーシャルキャピタルの概念を充足していく予定である。H27年1月に実施した市内専門学校のパイロット健診(受診者数約120名)ではうしよく、歯周疾患が学齢期以降悪化していることから実態の検証と、地域保健への波及に向けてたたき台を作り官民連携での新たな事業に展開していく予定である。平成27年度事業においては、実施期間を平成27年11月の1ヶ月に期間を限定して行った結果、本会会員の協力診療所において、113人の学生が受診した。</p>
<p>6. 実施後の評価(今後の課題)</p>	<p>今回の大学生対象の検診結果を見ると、対象学生数8,800人に対し受診者が113人という結果(1.3%)となり、受診率がかかなり低く、今後受診率のアップも視野に入れ、健診対象の拡大も検討しながら、当該事業の方向性を確立させる必要がある。</p>

